



▲ハロウィーン

『まちづくり大山』
子どもたちの見守りを通じた
地域づくりをめざして

まちづくり大山が現在取り組んでいるのは、「地域で子どもを見守り育てる」取り組みです。特に力を入れているのが「子どもの居場所づくり」と「高校生の通学支援」です。

大山地区には24集落があり、広い範囲に点在しています。以前は、各集落に複数の子どもがいて、集落内で子ども同士が遊べる環境でしたが、現在は子どもが少ない集落や、少人数の集落が増えています。そのため、学校から帰っても一人でいたり、休

日に友達と遊ぶほうとしても近所に遊ぶ相手がいなかったりというのが現状です。そのような状況から、学校帰りや休日でも地域の子どものたちが、気軽に集まり、交流できる（遊べる）場として大山農村環境改善センターを活用しながら取り組みを進めています。

具体的な取り組みとして、10月31日に「ハロウィーン」イベントを実施しました。学校や保育所終了後の子どもたちが、大山農村環境改善センターに集まり、魔女やゲームのキャラクターに扮し、近くの今在家集落内を練り歩きました。集落の皆さんは、家の外に出て、子どもたちにお菓子をバナナ等を手渡しました。集落の方からは、「子どもたちとふれあうことができてよかったです」「元気をもらえた」などの声をいただきました。

12月16日には、地域ボランティアの皆さんの協力を得て、クリスマス会を実施したところ、同様に子どもたちが集い、大変にぎわいました。

このような取り組みを通じて、子ども同士の繋がりはもとより、親同



▲クリスマス会

士・地域の大人と子どもの繋がりができます。地域で子どもたちを見守ることにもつながると思います。

また、大山地区の高校生のいる家庭では、毎日、JR大山口駅まで送迎しており、保護者にとっては負担になっていきます。負担を少しでも改善するため、保護者同士の助け合いによる「送迎（まずはお迎え）」システムの実証実験に、日本財団の支援を受けて取り組んでいます。この取り組みは、高校生の見守り活動にもつながっています。

参加している保護者からは、「参加してよかった。迎えに行く回数が減った」「助かっている」との声をいただいた



▲送迎打ち合わせの様子

いていきます。引き続き、参加者で話し合いながら取り組みを続けます。

まちづくり大山は、地域の中での繋がりを大切にし、お互いに助け合う活動を続けることで、大山地区の皆さんが、この地域で楽しく暮らしていけることを願っています。

◆問い合わせ先

まちづくり大山事務局

☎0859・57・4672